

としはる通信

2006.12

No. 18

編集、発行
川村俊治
〒258-0111
山北町向原
17-10
75-0928
E-Mail
t-kawamu@mv
d.biglobe.ne.jp



うだつの町並み
徳島県脇町

いあいわし

いつの間にか師走も半ばを過ぎてしまいました。時間の経過がとて早く感じられる昨今です。

さて、12月12日から14日まで平成18年山北町議会第4回定例会が開催されました。主な議題は補正予算、人事案件で、他に条例の改正などがありました。

速報としていつものようにお知らせしてまいります。ご一読いただきてご意見などもお寄せいただけますようお願い申し上げます。



川村としはる
(俊治)

一般質問

高松山畜産団地構想の 進捗状況はどうか

平成14年に議会の議決を経て、土地開発公社が破産財団所有地他を取得し、高松地区の振興のために畜産団地整備構想が策定されていると理解している。

質問 平成17、18年度には国の直轄による基本調査を実施し、地元の意向確認、地元組織の設立、地元調整開始、事業主体の調整、をすることになつていますが進捗状況はどうか。

答弁 資源循環型畜産団地のモデルを提案、43戸全員から推進の意向があり、推進委員会を設立し、全員の協力体制が確立しました。事



業主体となる法人を設立するため、関係者と調整中です。

質問 中山間保全整備事業とは何か。関係行政機関との調整状況はどうか。

答弁 高松地区振興のためのアクセス道路の整備が主です。国が積極的に受けるためには面積が必要で、山北、松田、大井、南足柄の内山地区が含まれます。

県は森林、農業を一体整備する農業のあり方の基本調査をするものです。整備構想調査を1年延ばします。

質問 近隣市町も負担が発生するならば、それに見合った受益がなければ構想に乗らないのではないかと。現状はどうか。

答弁 南足柄は農業団地の整備があり、市が受益者となるため本構想

はストップ。大井は事業の検討が遅れている。松田は対象面積が少ないので観光農業で行く方針です。

質問 今後の整備構想の見直しはどうか。町はどのように対応していくのか。

答弁 事業主体となる企業を含めて構想を立て、実現に向けて全力で推進します。各市町には説明をして協力を申し入れます。

質問 匿名で信憑性は疑わしいが、インターネットに、高松地区について、特定の人間の利権がある、町長が代わったので事業はやらない。などの書き込みがあるがこれらをどう思うか。

答弁 全く問題にするべきでないと思います。

個人情報保護条例を改正

町では「個人情報の適正な取扱い確保」と「個人情報の開示及び訂正を求める権利の保障」を柱として個人情報保護条例を制定しています。法律に罰則等が規定されたため条例の見直しを行ったものです。

主な改正点は罰則等の創設です。町の職員や受託業務従事者、指定管理者業務従事者が、情報漏えいを行った場合に、罰則が適用されます。罰則の重さは国、県の行政機関の職員と同じです。

後期高齢者医療

広域連合規約

平成20年度から、75歳以上を対象にした新たな医療保険制度がスタートします。神奈川県内全市町村で構成する「神奈川県後期高齢者医療広域連合」を設立し、法定事務を行います。町では保険料の徴収、各種申請受付などの窓口業務を担当します。(法律で定められました。)

市町村の代表が広域連合の規約を作成し、各市町村の議会に承認を求めてきました。

審議の結果、高齢者にとって保険料が高すぎる。広域連合への経費負担金が都市部に比べ町村部に割高感がある。システムの導入に大都市も町村も同程度程度の費用がかかり町村部の負担が大きい。などの意見が出ました。

2年後の見直し時期に、これら意見を提案して改善の努力をする、との答弁があり、賛成多数で承認しました。(賛成12反対5、川村は賛成)

§ 後期高齢者医療制度 §

75歳以上の「後期高齢者」全員が加入する公的医療保険制度。2006年の通常国会に提出された医療制度改革関連法案に盛り込まれ、2008年度から新たな独立型の健康保

険としてスタートする。保険料は原則として加入者全員から徴収する。保険料徴収は市町村が行い、財政運営は全市町村が加入する都道府県単位の広域連合が担当する仕組み。財政は、本人保険料1割 税金約5割

74歳以下が加入する各健康保険からの支援金約4割の比率で負担する。保険料は広域連合ごとに決定するが、厚生労働省の試算では2008年度の制度発足時には月額6200円程度(全国平均)になる見通し。配偶者や子供の扶養家族となっているため保険料を払ってこなかった人は、激変緩和措置として2年間半額になる。出典:イザ辞典Web)

人事案件

山北町教育委員会委員

2名の方が新たに教育委員会委員に選任されました。

松下千恵子氏 山北町向原

任期は平成18年12月14日、平成20年10月23日

鈴木猛史氏 山北町岸

任期は平成19年1月1日、平成22年12月31日

南足柄市外二ヶ町組合議会議員
牧田富彌氏 山北町岸 が選任されました。

公務中の飲酒で減俸

町長が自身を処分

瀬戸町長は議会冒頭の挨拶で、先日の丹沢湖マラソン大会での飲酒について謝罪しました。これに対し、緊急質問を行いました。

緊急質問 丹沢湖マラソン大会は山北町の大きなイベントの一つであり、山北町、山北町教育委員会、町体協が主催し、中学生を含む各種ボランティアなどの協力のもとに行われているものです。

当日の町長は、大会会長であること、公務中であること、飲酒場所が校舎内であること、飲酒の後に表彰式に出たこと等であり、その行為の影響は重大であると考えます。町民から各議員に対し、厳正な対処を求める要望文書や、電話あるいは口頭での要望が相次いでいます。これら町民の意見は看過できないので町長にお伺いします。

- 1、謝罪をされたが事実関係が明らかになっていない。事実と動機の原因を述べてほしい。
- 2、本件は謝罪をしてすむ問題ではない。町長は行政の長として自身自身の責任をどう取るのか。
- 3、町民や当日の参加者、あるいは協力していただいた方々に対してどのよう考えるか。

してどのよう考えるか。

答弁 丹沢湖マラソンには過去18回参加しており、大会会長として参加することで、参加者に対する励ましと大会のPRになると考えて参加した。昼食時にサンドイッチと缶ビールを買って食べようと考えた。昼食が出ることは知らなかった。11時20分に20キロのスタートが終わり、朝食のため3階へ行った。部屋には5、6人いたが、悪意はなく普通に食事を終わった。誰かが言っていただければよかった。責任としては議会で反省と謝罪の弁を述べました。

町民に対しては広報で文書として謝罪します。他の関係者に対しては何らかの方法を考えたいと思います。

再質問 責任の取り方についてはもっと目に見える形で表してほしい。職員であれば懲戒処分がある。

答弁 減俸を受けようかと思っております。

再質問 町長に明確な答弁をいただきましたが、その妥当性は町民が判断するものです。今後の行動を含めて、町民の判断と動きによっては議会として、今後とり得る手続きを進めていかなければならない。ということをお願いいたします。